

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション3)

学校のスタッフとして生き生きと働く！

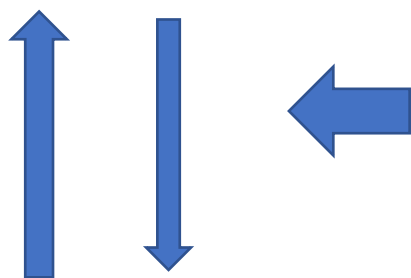
～自由な発想で学校事務をデザインする～

★分科会討議当日は、お手元にこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

ありたい姿に近づくために今できることは何かを考えグループで課題解決策を話し合ってみましょう。

【現状】

公費私費の区分や、教員からの発注スキームについて、各校でかなり異なっている。
予算委員会も同様に時期・やり方・型式なども同様に大きく異なっている。



【差＝問題】

各校で受け継がれてきたもの、異動した人がやってきたやり方、など多様なやり方や考えがある。

【ありたい姿】

どの学校に異動しても多少の際はあれど、同じ形式・形で統一されたスキームがある。またはお手本があり、運営に支障をきたさず予算運営が行える。



【ありたい姿に近づくための取り組み】

まずは共同実施内でやりかたについて揃えられる点がないかを確認する。
通年試してみることで、問題点などを洗い出す。
事務職員の異動があっても、その職員が初任やベテランであっても、共同実施内で継続していけば、教員にも事務職員にも過度な負担をかけることなく予算運営が可能となる。

(参考例)

1. 学校の組織運営に関すること (・効率的な予算執行について・保護者負担軽減等学校徴収金について)
2. 人材育成に関すること (・初任者対象実務研修について・リーダー養成研修について)
3. 危機管理に関すること (・学校防災へのかかわりについて・施設設備、安全点検のかかわりについて)
4. 教育活動に関すること (・カリキュラムマネジメントの推進に向けて・教育活動におけるICTの活用支援について)
5. 地域連携に関すること (・コミュニティスクールとのかかわりについて)